

# 玉手山学園 広報

Tamateyama Gakuen Kouhou  
Vol.74  
2014.1  
New year

巻頭 理事長あいさつ  
謹賀新年  
素敵な“おもてなし”

## Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 学園トピックス
- 先生をご紹介します
- 職員さんをご紹介します

## 建学の精神「感恩」

人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し、今の自分がある。この偉大なはからいに目覚め、深い感動と感謝の念から発する豊かな心と情熱をもって、人の幸せを願い行動するとき、われわれは社会に貢献することができる。

～「ありがとう」に出会い気づき、感動・感謝の行動から、また新しい「ありがとう」が生まれ出されていく～

## 巻頭

理事長あいさつ

# 謹賀新年 素敵な “おもてなし”



### 謹賀新年 ありがとう富士山

学生・生徒・園児、保護者そして教職員のみなさま、新年明けましておめでとうございます。午年2014年が、みなさまにとって素晴らしい1年になりますようお願い申し上げます。さあ、今年は夢に近づくために、どうしましょうか、何ができるでしょうか。

昨年の晩秋、所用で福島県を訪れました。往路、「みなさまの右方向に富士山が」の機長アナウンスとともに、雲海に浮かぶ冠雪富士の流麗かつ荘厳な姿が目飛び込んできました。機窓のぎりぎりまで追いかけて、「ありがとう、富士山」と呟いていました。



高校女子バレー部 一部昇格



懸命に応援するバレー部員

### 福島県 見えない敵との戦い 何かできることはないか

福島県飯舘村は、福島第一原発事故の放射能汚染により未だに「全村避難」規制中です。飯舘村村長は「私たちは放射能という見えない敵と戦っています」と、苦難の話を聞かせてくれました。名残を惜しむ間もない住み慣れた当たり前の日常、親しい仲間たちとの「別れ、心の離散」は、想像を絶する物心両面の困難をもたらしています。心休まらぬ慣れない環境で、一体いつ戻れるのか、期限の見えない忍耐を強いられながらも、再建の日を信じ、試練と向き合っている被災者のみなさんに敬意を表し、心からお見舞いを申し上げます。恵まれた今の自分が「頑張ってください」とはなかなか言えません、何かできることはないかと心の中で思うのみでした。



## 大河ドラマ“八重の桜”も復興を願って

幕末、明治維新の会津が主役のNHK大河ドラマ“八重の桜”は、東日本大震災の被災地である東北の人々の復興を願い、本来の予定を変更し制作されたそうです。震災直後の春、鶴ヶ城に観光客、修学旅行生等の賑わいはありませんでした。恐れていた風評被害、もう福島県には誰も来ないのかと絶望的な思いになったそうです。しかし適切な情報共有の浸透とともに、「何かできることはないか」との思いで、仕事や旅行の地としてわざわざ福島県を選んだ人も多くおられたのではないのでしょうか。“八重の桜”という復興支援とともに鶴ヶ城に華やぎが戻ってきました。ドラマ“八重の桜”は事実6割、残り4割は演出とのことらしく、様々なエピソードも伺い、さらに印象が深まりました。新島八重氏は昭和7年に没、「本物の八重さんと話をしたことがある」という人もまだご存命ではないのでしょうか。そう思うと一気に時代がつながってきませんか。

## 高校生論文コンクール 私は両親に敬語を使う

昨夏の福科大・関女短の第7回高校生論文コンクールのテーマは「家族」、最優秀賞は熊本県で真剣に甲子園出場を狙っている男子高校生でした。「親に敬語を使う、それが珍しいことであることを分かっている。それでも自分は、これからも両親に敬語を使っていく。自分のために頑張ってくれているから」と彼は述べていました。両親に心から感謝している彼の想いが爽やかに伝わり胸を熱くしました。多くの高校生が「家族とは特別なもの」と、様々な事例と表現で述べていました。応募してくれた高校生のみなさん、感動・元気をありがとうございました。



第7回 高校生論文コンクール 表彰式

## 素敵な“おもてなし”の姿勢

大学・短大のオープンキャンパスや、高校の体験入学等で学生・生徒たちも「お迎えのスタッフ」として大勢、手伝ってくれています。来場者の方々は本学園の施設も見学しますが、在学している学生や生徒の雰囲気にも大いに関心(入学したらどんな友達がいるんだろう)を持っています。学生・生徒のみなさんは、見られていることを意識し緊張しながらも、どうしたら来場者のみなさまに喜んでもらえるだろう、何を望んでおられるのだろうと一生懸命に考えて行動してくれています。みなさんはそのとき、間違いなく“学校の顔”になっています。ぎこちなくてもいい、笑顔で“ようこそ”の気持ちを持って接すれば、必ずそれは来場者に伝わります。学生・生徒のみなさんの“おもてなし”の姿勢はとても素敵で、それはみなさん自身の心の成長にもつながります。「来場者のみなさん、学園自慢の学生・生徒・園児たちを見てください」私はいつもそう思っています。今年も学生・生徒・園児、教職員の一人ひとりが、笑顔で来場者を迎えましょう。笑顔から、また笑顔が生まれてきますから。

学校法人玉手山学園 理事長 江端 源治

経営理念とビジョンは玉手山学園ホームページからご覧いただけます。  
ぜひご確認ください。 <http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/vision/index.html>



## 柏原市民総合フェスティバルに参加

9月28日（土）、清々しい秋晴れのもと、「第5回柏原市民総合フェスティバル」が市役所前大和川河川敷緑地公園、及びリビエールホールにて開催されました。

このイベントは、毎年恒例の産・学・官共同の地域連携行事で、本学園もステージ発表、ブース展示などに参加しました。ステージ発表では、大学・短大生の手話部、ダブルダッチサークル、軽音サークル、高校の保育進学コース

による活気溢れるパフォーマンス（和太鼓演奏）が会場を盛り上げました。また学園ブースでは、各校園の案内の他、幼稚園教員によるヨーヨー釣りが行われ、列が絶えないほどの大盛況のうち終了しました。学生・生徒と教職員が一体となって多くの市民との交流を図ることができる有意義な機会として、実のあるフェスティバルとなりました。

大学 手話部  
Growth



大学  
ダブルダッチ  
サークル  
BE! POP



第5回  
柏原市民総合フェスティバル・秋の陣



大学・短大  
軽音サークル

学園ブース  
(河川敷緑地公園)



学園ブース  
(リビエールホール  
文化・教育ゾーン)







# 保育進学コース ～和太鼓演奏を終えて～ 感想紹介

リビエールホールの大ホールで、大勢の観客の前で元気いっぱいには和太鼓を演奏いたしました。生徒たちの感想の一部を紹介させていただきます。

『6月頃から和太鼓の練習を始め夏休み中も出てきて教えていただき、手にマメを作りながら一生懸命練習してきました。和太鼓演奏は文化祭の時にも発表させていただいたのですが、このようにリビエールホールという大きな舞台上で演奏できる場を用意いただきうれしく思っています。私達が出演するに当たって学園の方々が動いてくださったおかげで成功できた事なので、とても感謝しています。

そして私達10組の皆で頑張ってきた成果をいろんな人に観ていただけてとても光栄に思っています。』

・・・細井 三奈子

『最初「リビエールホールで和太鼓の演奏をするよ」と聞いたときは、とても嬉しく思いました。それは、6月頃から約3ヶ月間休みなく練習を続けてきて、クラス内で揉めたり、メンバーが揃わなかったりと、色々なことを乗り越えてきました。しかし、文化祭の発

表では全員心一つになり成功し、皆で涙を流して感動した経験があり、そんな感動をもう一度味わうことができると思ったからです。本番はとても広いホールで緊張しましたが、多くの方々に練習の成果を観ていただき、高校生活で忘れられない思い出になりました。』

・・・堀川 徳子

『私は和太鼓の練習を通して、仲間を思いやる気持ちや協調性・自主性・気配りを身に付ける事ができたと思います。そして、何よりクラス全員が団結し、心一つになり音が揃った瞬間は心から感動し涙が溢れてくるほどでした。そういった感動するステージを文化祭だけでなく、柏原市民総合フェスティバルでも機会を与えていただきとても感謝しています。この経験は今後の私達の進路に役立つと確信しています。』

・・・松井 恵





## 短期大学新校舎設計中

短期大学の中長期計画では、「学生本位の施設・設備の改善向上（短大1～3号館耐震対応（建替え含む）」とあり、その具体的な事案として、短大3号館の耐震補強工事の実施と短大2号館の建替え計画が進行中です。

短期大学は、平成27年には開学50周年を迎えます。その記念事業の一環として、老朽化した短大2号館(昭和36年竣工)の建替えを計画していますので、ご紹介します。

計画案は、鉄骨造8階建て、延床面積は4,708㎡です。各階の形状は、およそ25m×25mの正方形をしています。

建設場所は、学園敷地のほぼ中央に当たる木造校舎周辺地を予定しています。建設場所周辺は、学園フォトコンテストで最優秀となったトト口の樹木など高木も多数あり、

緑化景観とのマッチングも設計コンセプトにしています。設計完了後の平成26年8月頃から工事に着手し、平成27年7月末の新校舎完成予定に向けて進行中です。

基本計画（案）の諸室をご紹介します。

1階～3階：学生ホール、ゼミ室・自習室、大講義室など

4階：研究室、共同研究室など

5階～8階：各実習教室（看護臨床実習室、マネキン実習室、歯科基礎実習室、デンタルチェア室など）

短大関係者の皆様には、多大な期待を寄せていただいておりますが、工事中は工事車両の通行ルートや騒音などご迷惑をおかけすることになるかと思っております。

学園関係者の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 関西福祉科学大学 卒業生6,252人に！ 11月9日(土) 同窓会を開催！

平成25年11月9日（土）、関西福祉科学大学 同窓会の各学科部会（社会福祉学科、臨床心理学科、健康科学科、リハビリテーション学科、大学院）を開催。当日は77名の卒業生にご参加いただきました。

講演会や分科会、懇親会など、各学科でさまざまな内

容の部会を実施しました。近況報告や意見交換が積極的に行われ、盛会のうちに終了しました。

福祉栄養学科は来年2月に実施予定です。今後もさらに多くの卒業生にご参加いただけるよう、継続して同窓会を実施させていただきます。



社会福祉学科部会・大学院部会（臨床福祉学専攻）



臨床心理学科部会・大学院部会（心理臨床学専攻）



健康科学科部会



リハビリテーション学科部会



# 安全衛生委員会主催 メンタルヘルス研修会を実施

安全衛生委員会主催のメンタルヘルス研修会を9月4日（水）に開催しました。講師に関西福祉科学大学 社会福祉学部 臨床心理学科 永田俊代先生をお迎えし、「心の豊かさと心の健康 ～ちょっとした気づきから～」というテーマで、自分自身の心の状態の理解、そして周りの人たちへの配慮について、お話しいただきました。定時後にも関わらず、教職員の皆様79名が参加されました。研修会は講義だけではなく、NEO FFIという性格特性を測るシートを用いて自分の特性を理解するなど大変有意義な内容となりました。



## 保育造形の会にて 「絵画製作の実践発表」

平成25年9月28日（土）広島県、京都府、兵庫県、奈良県、大阪府と多方面に亘り、多くの現場の先生たちや絵画講師を本園にお迎えし、研究会を開催しました。

本園の絵画製作の取り組みについて、各学年より代表4名が発表しました。年少組「粘土遊びの工夫と援助」 畠山由佳里、「初めての絵画」 梅木茜。年中組「クラスを飛び出しての絵画製作」 中寄佑佳。年長組「評価を気にしていた年長組」 本間聡恵。それぞれの学年で今取り

組んでいる絵画製作での成功例や失敗例のありのままを発表しました。

その後、各園より持ち寄っていただいた絵画作品を全員で鑑賞し合い、子どもが工夫を凝らしたところや絵の話しを披露し合いながら、その苦勞談義に花を添えていただいたり、助言をいただいたりと有意義な時間を過ごすことができました。



# 先生をご紹介します

1. ご専門をお聞かせください。
2. ご専門に進まれるきっかけを教えてください。
3. 趣味はなんですか？
4. 今後の抱負をお聞かせください。



高等学校 教頭  
笠原 雄一

1. 大学での専門は「西洋史」で、特に「西欧中・近世の民衆の死生観」をテーマに研究していました。現在は高等学校教頭として、主に「教務」と「進路」を担当しています。
2. 子どもの頃から、なぜか「外国のこと」に関心があり、自然と「世界史」や「英語」が好きになりました。それで「社会」と「英語」の教師になったわけです。
3. 「旅行」が一番の楽しみですが、時間が無くて、なかなか機会がありません。特に「家族との旅行や、出かける時間」を大切にしています。…あと「写真」や「読書」も好きです。
4. とにかく、高等学校が少しでも発展できるよう、本当に微力ですが、全力で取り組んで行きたいと思っております。



幼稚園 教務主任  
岡本 秀美

1. 園児や教師、実習生の指導と園の運営に関わっています。また、現在、未就園児クラス(ころころ、ぴよぴよクラス)や「親子で遊ぼう」も担当しています。幼稚園を楽しみにしてくれている子どもたちや保護者の皆さんと触れ合い、元気をいただきながら、時には子育てのお話を聞かせていただいております。
2. 音楽関係の仕事に従事しておりましたが、公立幼稚園で介助員の業務に携わることになり、その時にご指導くださった先生方から「幼稚園の先生になっては」と助言をいただき、幼稚園に勤めることになりました。
3. スポーツを観戦するのではなく実践すること。学生の頃より、バスケットボール、バレーボール、スキー、スノーボードなど果敢に行動しておりましたが、年齢には勝てず怪我をすることも多くなり、ついにはアキレス腱断裂と半月板損傷…。それ以来リハビリも兼ねて、時間があればサイクリングやゴルフ(ハンディたっぷり)を楽しんでいます。
4. 園児たちと共に過ごす時間を楽しむこと。それは自分自身が楽しまなければ園児たちに明るく満ち足りた場所や時間を作ることは出来ません。その中で、園児たちが喜怒哀楽を表現し、優しい気持ちや素直な心を育むことが出来るよう、関わっていきたいと思います。これからもいろいろな人といろいろな場所で「楽しむこと！」です。

次回は、大学・短大の先生をご紹介します。

# 職員さんをご紹介します

1. お仕事の内容をお聞かせください。
2. お仕事を始められたきっかけを教えてください。
3. 趣味はなんですか？
4. 今後の抱負をお聞かせください。



法人本部 総務部

佐藤 孝一 (運転手)

1. 学園生の送迎バスや、公用車の運転手をしています。
2. 規則正しい生活の出来る仕事がしたいと思っていたところ、田舎の中学校の同級生(舟越さん：現在幼稚園の送迎バスの運転手)の紹介で、お世話になることになりました。
3. ゴルフ・物作りが好きです。
4. 安全・快適・確実な運転に努めます。